

第5章 各駅周辺と商店街の街づくり

1. 目白駅周辺の街づくり

目白駅周辺は、教育・文化施設が集積するとともに良好な住宅地が広がっている一方で、目白駅舎や目白橋は老朽化し、駅前広場はなく歩行者が錯綜していました。

そこで、これらの課題に対応していくため、地元住民・東京都・JR・都市再生機構(旧・住都公団)などの関係者で組織した「目白駅前広場等に関する連絡協議会」で「目白駅周辺地区街づくり計画」を平成9年7月にとりまとめました。

この計画の整備内容としては、目白駅周辺地区を5つのゾーンに区分し整備していくことにしました。計画の内容とこれまでの整備状況は以下のとおりです。

図表 2-5-1 ゾーン別整備内容と状況

ゾーン	整備内容と状況
駅前ゾーン	目白駅の架け替え(平成12年度完成) 目白駅舎の改築(平成12年度完成) 駐輪場の整備(平成13年度完成 台数:800台) 駅前空間及び交通広場の整備(平成14年度完成 面積:715.35㎡) 目白通り横断地下通路の建設(平成14年度完成)
商業・サービスゾーン	目白通り(歩道)の整備(平成17年度～20年度) 統一感のある魅力的な商店街づくりの推進(中・長期計画)
都市型生活ゾーン	都市型住宅の建設(平成9年度完成 7階建て3棟 138戸) 郵趣会館(切手博物館等)の建設(平成7年度完成) 住宅地及び地区道路の整備(中・長期計画) ホテルメッツの建設(平成15年度完成)
文化・教育ゾーン	区道249号線の歩行者ネットワークの整備(平成13・15年度完成) 旧運輸研修所用地の売却・学習院生涯学習センターの設置(平成11年度完成) 学習院校内の整備(中・長期計画) 旧日本造船技術センター用地の売却・都市型住宅の建設(平成17年度完成)

街づくりに関する取り組みの経緯は次のとおりです。

平成元年度	目白駅周辺地区整備構想策定調査
6月	「目白駅周辺地区整備推進協議会」発足
平成3年9月	清算事業団資産処分審議会より目白用地の処分の促進について提言
平成5年4月	駅前広場の代替地約1,000㎡を豊島区が取得
7月	住都公団が住宅建設計画を提示
平成6年3月	東京都交通局がバス回転広場施設用地約450㎡を取得
平成7年2月	「目白駅前広場等に関する連絡協議会」発足
3月	住都公団が住宅建設用地約5,200㎡を取得
12月	住都公団が未処分用地約2,000㎡を取得
平成8年10月	第8回の協議会で「目白駅周辺地区街づくり計画案」を了承 第四建設事務所及びJRが目白橋架け替え等工事についての説明会開催
平成9年7月	「目白駅周辺地区街づくり計画」策定
平成10年10月	目白駅周辺地区地区計画都市計画決定(1.6ha)
平成15年度	道の名付親運動(F・Lライトの小路他を命名)
平成17年度	目白通り歩道拡幅と並木の復活
平成22年度	国土交通省「住まい・まちづくり担い手事業」実施
平成24年度	目白古道(一部交差点改良)整備完了

2. 大塚駅周辺の街づくり

大塚駅周辺地区は、平成6年3月に駅南側の国鉄清算事業団用地が民間に売却されたことを契機に、駅周辺整備に向けての気運が高まってきました。

豊島区では、平成6年度に「大塚駅周辺整備方針」をとりまとめ、その後「大塚駅周辺整備マスタープラン」並びに「大塚駅自由通路新設基本計画」を策定しました

マスタープランの整備計画では、短期的及び中・長期的課題として次の項目を掲げています。

短期的課題	南北広場を結ぶ結節空間として自由通路を整備する。 鉄道の両側からアクセスできる位置に駐輪場を設置する。 補助81号線を整備し、池袋方面への歩行者ネットワークを実現する。
中・長期的課題	自由通路との一体感を保つよう大塚駅舎の改築を進める。 巣鴨方面への歩行者ネットワークを実現する。 駅東広場付近の再開発と広場改良及び地下駐車場の設置を進める。 駅西での面的整備を進め、西口改札の開設を図る。

その中で、南北自由通路は、都市交通システム整備事業(国庫補助)を活用して、大塚駅舎の改造(バリアフリー化)と一体的な整備を行い、平成22年3月に完成しました。

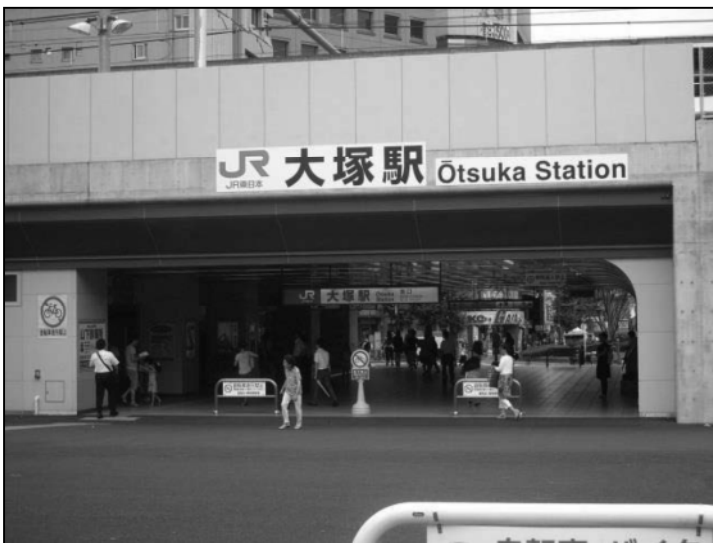
平成24年度からは、大塚駅南口の駅前広場の再編整備及び地下駐輪場の整備を進めていきます。

これまでの、街づくりに関する取り組みの経緯は次のとおりです。

平成5年5月	「大塚駅周辺を考える会」発足
平成6年3月	大塚駅南側の国鉄清算事業団用地を民間企業が取得
9月	「大塚駅周辺街づくりに関する協議会」発足
11月	「大塚駅周辺整備方針」策定 「大塚駅周辺整備に関する協議会」発足
平成7年3月	「大塚駅周辺整備土地利用基礎調査報告書」作成
9月	企業者によるホテル等の建設計画の地元説明会開催
10月	「大塚駅周辺整備調整会議」発足
平成8年3月	「大塚駅周辺整備マスタープラン」策定
平成9年3月	「大塚駅自由通路新設基本計画」策定
平成10年3月	「大塚駅周辺整備に関する分析調査」
平成11年3月	「大塚駅周辺地区道路整備方針策定調査」
平成12年3月	「駅街路1号線基本設計」実施
平成13年11月	JR東日本から「大塚駅南北自由通路新設計画(案)」が出される
平成14年9月	「大塚駅周辺整備に関する調整会議」発足
平成15年6月	大塚駅南北自由通路整備及び駅改良に関する基本協定締結
平成15年10月	概略設計の施行に関する協定締結

平成16年11月	詳細設計の施行に関する協定締結
平成17年3月	大塚駅南北自由通路整備及び駅改良に関する工事施行協定締結
平成17年8月	大塚駅南北自由通路整備及び駅改良に関する地元工事説明会開催
平成19年3月	「自転車駐車場整備基本計画調査」、「広場改良計画検討調査」
平成20年7月	大塚駅南北自由通路整備及び駅改良に関する工事施行変更協定締結
平成21年3月	「大塚駅(北口)駅前広場整備計画調査」
平成21年10月	大塚駅南北自由通路開通
平成22年3月	大塚駅南北自由通路工事完了、「大塚駅周辺整備計画策定調査」 「大塚駅南口地下自転車駐車場の基本設計」
平成23年3月	「大塚駅周辺整備に伴う基本設計」
平成24年3月	「大塚駅周辺整備に伴う実施設計」
平成25年2月	大塚駅周辺整備に関する地元工事説明会開催
平成25年3月	「大塚駅南口自転車駐車場整備に伴う実施設計」
平成25年3月	大塚駅南口駅前街路整備工事完了
平成29年3月	大塚駅南口自転車駐車場整備工事完了
平成29年5月	大塚駅南口駅前広場整備工事完了

図表 2-5-2 大塚駅自由通路（北口側より撮影）



図表 2-5-3 南口駅前広場



3. 東長崎駅周辺の街づくり

東長崎駅周辺地区は、人が集まる地区の玄関にふさわしい街を形成するために、南口と北口を結ぶ自由通路、駅前広場、自転車駐車場等の施設を整備し、活気ある生活の拠点となる暮らしやすい街づくりをすすめることが課題となっています。

平成13年1月に、地元の方々による「西武池袋線東長崎駅にエスカレーター等の設置を求める推進協議会」が発足し、平成13年2月には東長崎駅のバリアフリー化を推進するため、区議会議長あての請願と区長あてに要望書が提出されました。

このような活動により、平成14年5月西武鉄道から「東長崎駅改良計画協議案」が提示されました。

豊島区と西武鉄道は、平成16年度に国土交通省が創設した「駅・まち一体改善事業」を活用し、自由通路・駅前広場の整備とともに駅舎の改良(バリアフリー化)を実施して、平成20年6月に完成しました。

街づくりに関する取り組みは次のとおりです。

平成13年1月	「西武池袋線東長崎駅にエスカレーター等の設置を求める推進協議会」が発足
平成13年2月	区議会へ「西武池袋線東長崎駅にエスカレーター等の設置を求める請願」提出 区長へ「西武池袋線東長崎駅にエスカレーター等の設置を求める要望書」提出
平成13年3月	区議会で「西武池袋線東長崎駅にエスカレーター等の設置を求める請願」採択 区議会より西武鉄道へ「西武池袋線東長崎駅にエスカレーター等の設置を求める要望書」提出
平成13年5月	区長より西武鉄道へ「西武池袋線東長崎駅にエスカレーター等の設置を求める要望書」提出
平成14年5月	西武鉄道より区へ「東長崎駅改良計画協議案」が提示
平成16年3月	東長崎駅 駅・まち一体改善事業に関する基本協定の締結
平成16年3月	東長崎駅整備株式会社設立(第3セクター) 豊島区・西武鉄道共同出資
平成16年5月	東長崎駅南北自由通路新設及び駅前広場新設に伴う調査設計に関する協定の締結
平成17年5月	東長崎駅 駅・まち一体改善事業説明会の開催
平成17年8月	東長崎駅南北自由通路新設及び駅前広場新設に伴う工事の施行に関する協定の締結
平成17年9月	東長崎駅 駅・まち一体改善事業工事説明会の開催
平成20年3月	駅舎・自由通路が完成
平成20年6月	事業完了

東長崎駅施設概要

- | | |
|----------------------------------|----------------------------------|
| ① 駅舎 | ② 自由通路：エスカレーター(2台)
エレベーター(2台) |
| ア. 改札：橋上駅舎 | |
| イ. ホーム：島方式から相対方式 | ③ 駅前広場：北口 約600㎡ |
| ウ. 駅構内：エスカレーター(4台)
エレベーター(2台) | 南口 約400㎡ |

図表 2-5-4 東長崎駅完成写真 北口



南口

